



後期講座

西宮文学案内

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。関わりのある作家をとり上げその魅力を探っていきます。



第1回

作詞家・岩谷時子、歌謡曲をモダンに!

令和5(2023)年12月2日(土) 15:00~16:30

西宮市立勤労会館ホール

(松原町2番37号)

JR西宮駅より南西徒歩約7分 阪神西宮駅より東へ徒歩約8分

シャンソンなど欧米のポップスやラテン音楽の曲調を採り入れ、それまでなかったお洒落な歌謡曲を創りあげた岩谷時子は、西宮育ち、神戸女学院で英文学を学び、宝塚歌劇で感性を育んだ、稀有の作詞家・訳詞家でした。

増井孝子

ますい・たかこ
(ラジオパーソナリティ)



西宮市出身。中高大と神戸女学院に通い、大学在学中からラジオの仕事始める。板東英二、原田伸郎、藤本義一氏らと番組を担当。司会、映画評論家としても活動中。現在は、ラジオ関西「ばんぱひろふみ! ラジオDEしょ〜!」、さくらFM「西宮徹底解剖」などに出演中。

河内厚郎

かわうちあつろう
(文化プロデューサー)



1952年西宮市生まれ。演劇評論家。元「関西文学」編集長。兵庫県立芸術文化センター特別参与。阪急文化財団理事。芦屋市民センター運営受託者。宝塚市大使。はびきの市民大学学長。西宮市文化振興財団評議員。著書に『わたしの風姿花伝』、『淀川ものがたり』など。

対談

DJ加美智一 かみ・ともかず (みやっこ音楽回廊代表)

第2回

多くの文人墨客を惹きつけた苦楽園の魅力

令和6(2024)年1月30日(火) 15:00~16:30

西宮市立勤労会館ホール

(松原町2番37号)

JR西宮駅より南西徒歩約7分 阪神西宮駅より東へ徒歩約8分

苦楽園を訪れたのは与謝野晶子や谷崎潤一郎だけではありません。インドの詩人タゴールも訪れ、下村海南は海南荘を構え、江戸川乱歩や横溝正史もこの地で探偵小説の隆盛を図り、黒岩重吾は大阪湾を臨む書齋で執筆しました。苦楽園の歴史を振り返り、その魅力を探ります。

蓮沼純一

講師: はすめま・じゅんいち
(西宮芦屋研究所)



1951年西宮市生まれ。リタイア後は専門の工学を離れ、阪神間近現代文学・阪神間モダニズムのフィールドワークを中心とした研究をライフワークとし、阪神シニアカレッジ、西宮市立各公民館等で講師を務める。

第3回

「廻船問屋の中ぼんさん」と巡る阪神間

令和6(2024)年3月8日(金) 15:00~16:30

西宮市立勤労会館ホール

(松原町2番37号)

JR西宮駅より南西徒歩約7分 阪神西宮駅より東へ徒歩約8分

「廻船問屋の中ぼんさん」ゆかりの西宮、芦屋を中心とした明治から昭和の阪神間を、当時を生きた主人公「けんちゃん」の目を通して紹介していきたいと思います。また、西宮で生まれ育った著者が、物語の時代と今を対比しながら、時代の移り変わりをお話したいと思っております。

上念素子

講師: じょうねん・もとこ
(作家)



1961年兵庫県西宮市生まれ。「児童文学創作 梓の会」主宰の梓加依に師事。「廻船問屋の中ぼんさん」はデビュー作。

定員

各回300名(当日先着順)
※定員を超えた場合はご参加をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

受講料

各回500円
※お支払いは現金のみ。

受付開始時間

各回14:15を予定
※会場の都合上お待ちいただくスペースがございませんので受付開始予定時間に合わせてご来場ください。

今期は
事前申込
不要